

GL アクティブ（国内研修） 実施講座名『筑波大学 SGH 研修』

- 1 目的 多文化共生等のグローバルな問題に関連する分野を研究している研究室や授業等を見学し、SGH 課題研究の一助とする。
- 2 日時 平成28年度10月3日（月） 午前8時～午後4時45分（秋季休業）
- 3 参加生徒 28名（1，2年生）
- 4 場所 筑波大学（〒305-8571 つくば市天王台 1-1-1）
- 5 内容



ボランティアの方に図書館の案内をしていただき、調べ方や大学生がどのように図書館を活用しているか学んだ。



講師の大友貴史先生から国内政治と国際政治の違い、なぜ戦争が起きるのか、課題の解決方法を見つける際に大切なことなどを教授していただき、講義の最後に課題解決方法を生徒自身で考えた。

6 生徒感想

「戦争をしようという意思がなくても戦争が始まってしまう可能性があることが分かった。」

「これから課題研究を進める上でものごとを批判的に見ていくことも大事なことだと分かった」

「例え話により、あらためて世界経済（国際問題）が難しいことが改めて分かった。」

「講義体験では、あることをある一方からの視点から見のではなく、多面から見るのが大事であることを改めて感じた」

「普段学校ではあまり触れられないところまで知られて、とてもよかった」

7 成果と課題

今回の『筑波大学 SGH 研修』では、国内政治、国際政治の違いから学び、戦争の起きる理由等を様々な視点で考えるきっかけになったと思います。また、課題解決方法を考えるにあたって大切な「批判的にモノを見る」ということを学び、課題研究のテーマの発見や研究方法を学ぶ良い機会になったと思います。今後も筑波大学と連携をとることが SGH 課題研究に必要なと思われる。SGH ガイダンスで説明した1年生のゴール（目標）

- ① 全員が海外に自信をもって発信できる、日本の歴史、伝統、文化を語れるようにする。通史的なことではなく、自分が語れること。
- ② 研究したいグローバル社会における課題（日本を中心に考えてもよい）を見つける。（国際課題の解決に向けて、日本人に何ができるか、研究する。）
- ③ 英語のプレゼンができるようにする（プレゼンの手法も含めて）。
- ④ 課題研究の進め方を理解する。

のうち、②、④の参考になったと思います。